



インフルエンザに注意!! しっかり手洗い、きちんとマスク

平成 29 年 1 月 25 日
富山県感染症情報センター
(直 0766-56-5431)
(直 0766-56-8142)

感染症発生動向速報

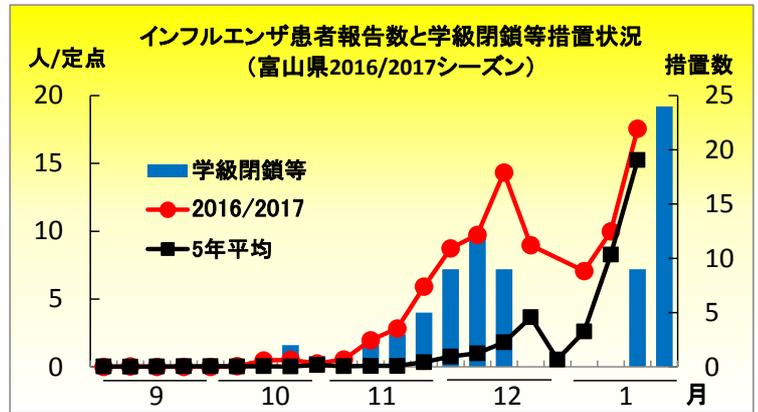
(平成 29 年第 3 週分・1 月 16 日～1 月 22 日)

《 インフォメーション 》

●インフルエンザ

今週、インフルエンザの患者報告数が定点医療機関あたり 17.56 人となり、先週 (9.98) から増加しました。

今シーズンは昨年第 51 週 (12 月 19 日～25 日) に注意報レベルとなる定点医療機関あたり 10 人を超えましたが、今週、再度超えました。例年 1 月に入って報告数は急増し、1 月下旬から 2 月上旬頃に流行のピークを迎えるので、今後しばらくは注意が必要です (右図)。



※ 学級閉鎖等措置数は 1 月 24 日現在

インフルエンザによる学級閉鎖等の措置も報告されています。今シーズンの報告数の合計は 1 月 24 日現在、76 件 (幼稚園 7 件、小学校 51 件、中学校 16 件、その他 2 件) となりました。インフルエンザの流行は現在拡大中です。次のことに注意して感染予防に努めてください。

- インフルエンザ対策の基本は「手洗い・うがい・咳エチケット」
- 発熱等の症状がある場合は無理をせず、登園や登校、出勤を自粛
- 人混みや繁華街への外出をなるべく控え、外出する際はマスクを着用
- 集団生活施設では、可能な場合、流行期の全員マスクの着用が効果的
- 意識がもうろうとするなどの重症感がある場合は、直ぐに医療機関を受診

《 全数報告の感染症 》

- 二類感染症 結核 1 件 (80 歳代、男性)
- 四類感染症 デング熱 1 件 (50 歳代、男性)
- レジオネラ症 1 件 (60 歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 ウイルス性肝炎 1 件 (70 歳代、男性)
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 件 (70 歳代、男性)
- 侵襲性肺炎球菌感染症 1 件 (第 2 週診断分：70 歳代、男性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数		
順位	疾病名	今週	先週	増減
1 位	インフルエンザ	17.56	9.98	↑
2 位	感染性胃腸炎	9.76	8.24	↑
3 位	流行性耳下腺炎	1.31	2.31	↓
3 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.31	1.07	↑
4 位	R S ウイルス感染症	1.24	0.83	↑
5 位	流行性角結膜炎	1.14	0.29	↑
6 位	マイコプラズマ肺炎	0.60	0.60	→

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成29年第3週 平成29年1月16日～平成29年1月22日）

分類	疾患	今週報告分（第3週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核				1		1				1	3	4
四類感染症	デング熱					1	1					1	1
	レジオネラ症			1			1		2			1	3
五類感染症	ウイルス性肝炎	1					1	1					1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症				1		1			1			1
	後天性免疫不全症候群										1		1
	侵襲性肺炎球菌感染症										2		2
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	176	60	244	133	230	843	339	133	417	327	445	1,661
		25.14	12.00	18.77	19.00	14.38	17.56						
	RSウイルス感染症	2		1		33	36	6	1	5	4	74	90
		0.50		0.13		3.30	1.24						
	咽頭結膜熱			3	4	3	10		5	21	7	12	45
				0.38	1.00	0.30	0.34						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	1	15	4	15	38	10	5	26	16	29	86
		0.75	0.33	1.88	1.00	1.50	1.31						
	感染性胃腸炎	58	38	47	31	109	283	165	112	125	69	302	773
		14.50	12.67	5.88	7.75	10.90	9.76						
	水痘		1	5	4	7	17		5	8	7	15	35
			0.33	0.63	1.00	0.70	0.59						
	手足口病			12	3		15			19	3		22
				1.50	0.75		0.52						
	伝染性紅斑											1	1
	突発性発しん	1	2	3	2	3	11	4	2	10	4	5	25
		0.25	0.67	0.38	0.50	0.30	0.38						
	ヘルパンギーナ			2			2			3			3
				0.25			0.07						
流行性耳下腺炎	3		19	1	15	38	10	2	88	13	48	161	
	0.75		2.38	0.25	1.50	1.31							
急性出血性結膜炎			1			1			1			1	
			0.50			0.14							
流行性角結膜炎			8			8			9	1		10	
			4.00			1.14							
マイコプラズマ肺炎		1	1		1	3	1	1	3	2	2	9	
		1.00	1.00		1.00	0.60							
感染性胃腸炎（ロタウイルス）					1	1					2	2	
					1.00	0.20							
インフルエンザによる入院患者（*）		6		2	5	5	18	12	2	11	33	30	88

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成28年第36週(9月5日)～の集計です。

インフルエンザ定点における患者診断状況

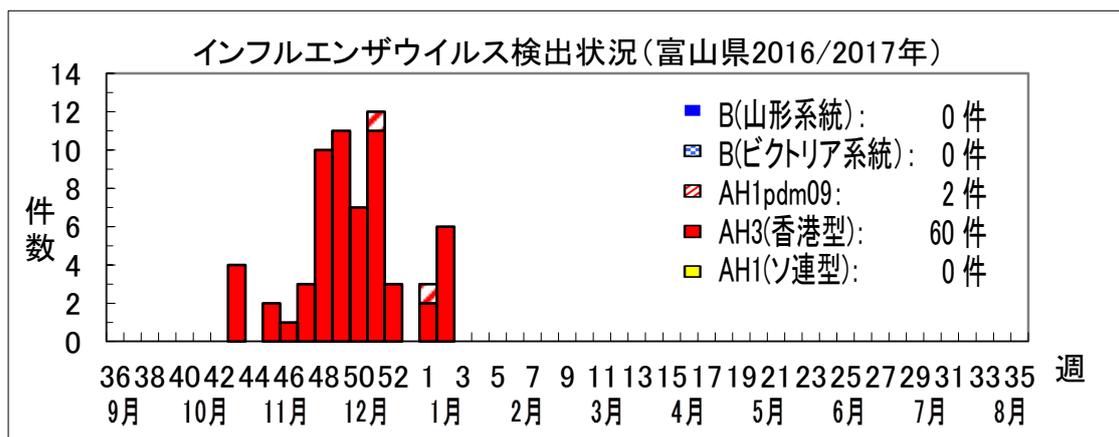
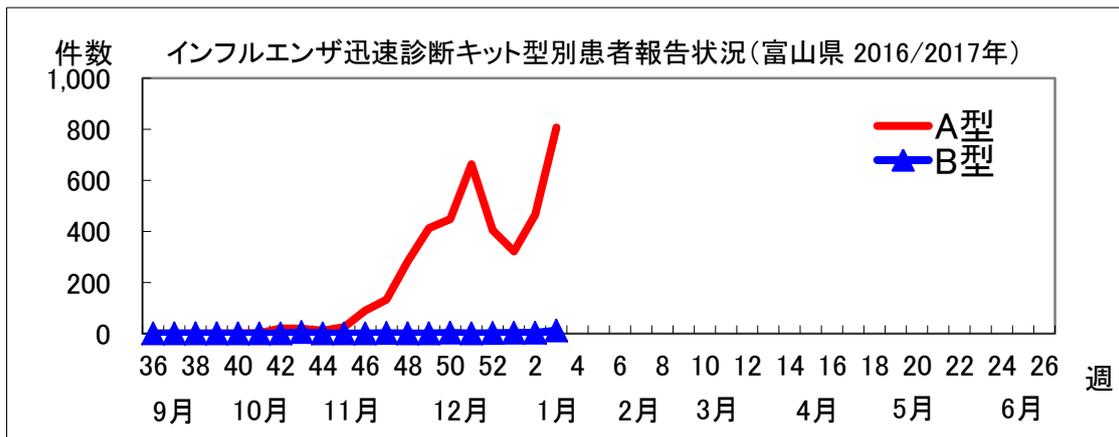
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。現在、下の表によると、A型が95.7%となっています。

第3週(1/16~1/22)：富山県 17.56人/定点 (単位:件)

厚生セン ター・保健所 名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	7 / 7	161	3	12	176
中部	5 / 5	55	0	5	60
高岡	13 / 13	229	8	7	244
砺波	7 / 7	133			133
富山市	15 / 16	229	1		230
富山県	47 / 48 ^{※1}	807	12	24	843
富山県累計(2016年36週~)		4,109	33	123	4,265

※1 報告定点数の例(47/48の場合):48の定点医療機関の内、インフルエンザと診断した医療機関は47か所で、残りの1か所はインフルエンザの診断がなかったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



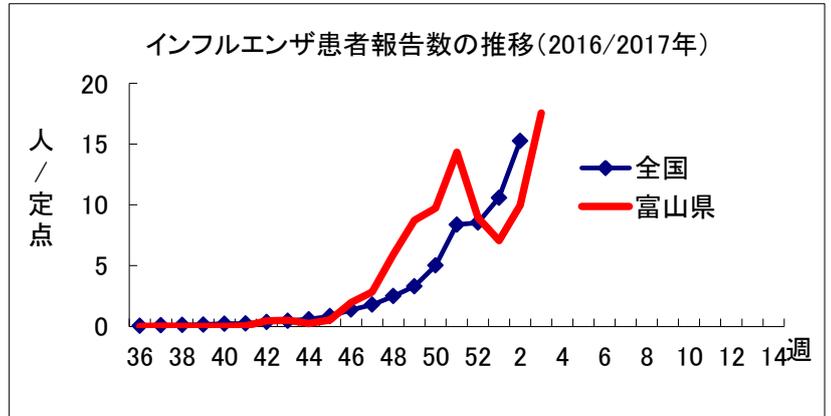


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第3週 (1/16~1/22) : 富山県 17.56 人/定点

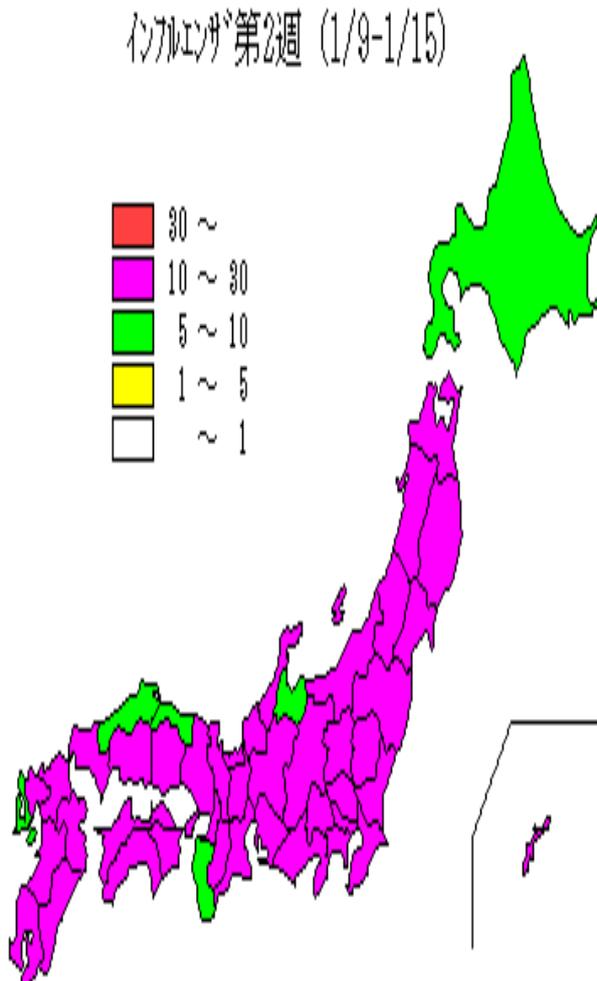
新川 HC (25.14)、中部 HC (12.00)、高岡 HC (18.77)、砺波 HC (19.00)、富山市 HC (14.38)

県内は4週ぶりに再度、注意報レベルの目安である定点あたり10人を超えました。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第2週 (1/9~1/15)

全国の患者報告数は、定点あたり15.3人となり、前週の定点あたり10.6人より増加しました。44都府県で前週より報告数が増加しています。



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	9.65	滋賀県	15.75
青森県	10.05	京都府	13.06
岩手県	10.65	大阪府	12.71
宮城県	12.53	兵庫県	12.58
秋田県	16.37	奈良県	12.43
山形県	11.29	和歌山県	9.9
福島県	14.84	鳥取県	8.41
茨城県	18.48	島根県	8.18
栃木県	12.58	岡山県	17.15
群馬県	17.36	広島県	16.83
埼玉県	20.21	山口県	12.59
千葉県	20.04	徳島県	14.38
東京都	15.17	香川県	14.19
神奈川県	16.67	愛媛県	16.2
新潟県	10.51	高知県	14.25
富山県	9.98	福岡県	15.11
石川県	13.31	佐賀県	12.56
福井県	19.50	長崎県	9.11
山梨県	17.54	熊本県	12.05
長野県	15.74	大分県	16.83
岐阜県	21.00	宮崎県	17
静岡県	18.26	鹿児島県	11.22
愛知県	24.74	沖縄県	16.93
三重県	17.93	全国	15.3